

よこてはいじあと
横手廃寺跡



福島県による案内板

種別

県指定史跡

指定年月日

昭和33年8月1日

所在地

南相馬市鹿島区横手字御所内

所有者

個人

横手廃寺は南相馬市鹿島区に位置し、遺跡の範囲は東西145m、南北91mで、水田となった堀跡が存在する。この堀跡は平安時代に岩松氏が館を構えた際のものであると推定されています。

遺跡からは多くの布目瓦が出土しており、平安期のものであると考えられるが、詳細な調査は行われていないため、伽藍の配置は不明である。現在、小祠がある場所には土壇の高まりが残り、円形造出を持つ礎石や多くの礎石が確認されています。



布目瓦の破片



礎石といられている石

現地では、道路から福島県教育委員会設置の看板を見ることができます。敷地内では、布目瓦や礎石を実際に見ることができるが、市有地でもあり個人宅でもあるので、所有者に確認してから、見せてもらうことが必要です。

1000年前の当地の栄華を感じることができる文化財です。